

西東京市市民協働推進センター
平成23(2011)年度第12回運営委員会会議録(確定稿)

- 開催日時：平成24年3月6日(火) 午後7時～8時
■開催会場：イングビル3階 第2会議室
■出席委員：有賀委員、有馬委員、岸委員、熊田委員、坂口委員、中曽根委員、原委員、
宮崎委員、吉田委員
<以上9名、五十音順>
■事務局：西口センター長、丸木地域福祉課長、中澤主事

1. 報告事項

1. 西東京市市民協働推進センター業務報告について

事務局：2月の主催事業は4件あるが、前回報告したので説明を割愛したい。2月のホームページのアクセス件数はユニーク訪問者が499、訪問者が946であった。3月は本日(6日)現在、それぞれ115と164なので月間でもまずまずの数字になると見込んでいる。

新規の登録団体は自死遺族の支援などを目的とする「西東京わかち合いの会」の1団体である。

相談は、東日本大震災の被災者が宮城県で活動したいので法人格を取得したいというものや、スポーツ関係のインストラクターである知人がボランティア活動をしたいのでつないでほしいというものなど3件あった。

2. 3月以降の西東京市市民協働推進センターの事業について

事務局：NPO会計講座は昨日、税理士の柱山歩さんを先生にして9人が参加した。アンケート結果を見ると、何人かが非常にわかりやすい説明だったと答えた半面、税務に精通した人からはもう少し深い内容を求められた。この種のセミナー事業の難しさが表れた形だ。

3月16日に行う第6回トークサロン「市民ファンドを考える」は、社会福祉協議会の2人を含めてまだ6人にとどまっている。運営委員からも参加願いたい。

第三者評価は、NPO法人笑顔せたがや事務局長の山崎富一さんに外部評価委員会を代表して書いていただく。A4用紙で数枚にまとまったようで、他の3委員と内容について調整を進め、最終的な会議を17日に開催する予定である。

委員長：外部評価委員会が最終報告書をまとめるにあたり、どのようなことが話し合われたのか。

事務局：2回目の会合で事務局が用意した主要12事業の個別の内部評価シートを渡し、事業概要やこれまでの3年間の歩みなどを説明した。報告書のイメージとしては、個別の事業を通して、「ゆめこらぼのライフサイクル」の第1期(開設から3年間)で示した情報発信力の強化や認知度向上といった骨組みに照らしてどうであったか、また第2期(2012年4月～2015年3月)へ向けての課題を整理していただき、全体としてどういう方向に進めばよいのかのコメントをいただくことになろう。

委員長：次年度以降の運営委員会に示してもらえるか。

事務局：そのようにする。ホームページなどで公表するかについてはこれから検討する。

事務局：市民活動団体登録申込書の記載内容の一部変更について説明したい。「活動分野」に「観光の振興」と「農山漁村または中山間地域の振興」を追加することにした。昨年6月の改正NPO法成立(2012年4月1日施行)に伴うものである。正式にはもう1分野「都道府県または指定都市の条例で定める活動」があるが、都に確認したところ、少なくとも新年度に新しい分野を定める動きはないので、当面2分野の追加とした。ホームページでも同様に対応する。年度替わりに行う登録更新手続きでもこの2分野を確認する。なお登録更新手続きでは、これまで同じ様式の申込書にもう一度記入して提出してもらっていたが、ホームページの基本データを出力して変更箇所のみ記載すればよいようにシステムともども改善したい。

3. 西東京社会福祉協議会理事会・評議員会の結果の報告について

事務局：2012年度以降の市民協働推進センターの運営に関しては2月28日開催の社会福祉協議会理事会・評議員会で審議され、受託することで承認を得た。理事会では社会福祉協議会が受託することに

1 疑問を呈する声があった。事務局からは、今まで培ってきた経験を生かして市民活動の支援と協働を
2 進めていくことは社会福祉協議会が本来目的とするところと一致すると説明した。

3 委員長：質問等はあるか。

4 委員：センターの臨時職員の募集状況はどうか。

5 事務局：現在4人である。状況は厳しいので、運営委員の方々に声をかけていただけるとありがたい。

6 委員：パソコンソフトに習熟し団体、関係機関とのコーディネート力も求められている。

7 委員：社会福祉協議会の職員をセンターの要員に振り向けられないか。

8 事務局：社会福祉協議会の職員は今の業務で手いっぱいだ。新たな人を確保するしかない。

9 委員長：受託に疑義を出した理事がいて、満場一致の受託でなかったことは、運営委員会でも押さえておく必
10 要がある。運営委員会をどう考えていくかにつながることである。

11 委員長：契約に向けての手続きに入っているのか。

12 事務局：仕様書等を文書で確認し合っている段階であり、市と相對しての詰めはそのあとになる。

14 15 2. 審議事項

16 1. 2011年度第11回西東京市市民協働推進センター運営委員会会議録について

17 委員長：2011年度第11回運営委員会会議録（未定稿）を確定稿とする。

19 2. 西東京市市民協働推進センター運営委員会の次回傍聴について

20 委員長：次回の会議も今回と同様に傍聴は3人までとする。

23 3. 協議事項

25 1. 西東京市市民協働推進センター 2012年度予算の変更について

26 委員長：給与体系には経験に応じたインデックスはないのか。

27 事務局：社会福祉協議会の臨時職員の賃金体系にいわゆるベースアップはない。市が認めない限り賃金単価の
28 引き上げは困難である。

29 委員：減額されているなかで、今年度並みのサービスレベルを維持できるのか。

30 事務局：単価改定で専門的な技術や知識のある人材を確保するつもりであったが、単価引き上げが困難だとし
31 て業務水準を下げることはできるだけ避けたい。

32 委員：土日と平日でセンターの利用時間を変えるなど利用時間帯を検討することも、人件費を考えた時には
33 必要である。サービスレベルを落とさずに今の仕組みを変えていくことはできないか。

34 事務局：受託団体募集の時点で仕様書に休館日や開館時間などの条件が入っている。

35 委員：ニーズに合わせた開館時間を考えてはどうか。

36 事務局：防犯上の理由もあり、仕様書には職員の配置は常時2人以上とすることになっている。利用時間や要
37 員配置の変更は市と協議をしなければならない。委託契約書を取り交わすまでに協議したい。

38 委員長：現行の単価に問題があるという議論が運営委員会で行われたことを、今後の市との交渉の際に伝えて
39 ほしい。

41 4. その他

43 1. 次回運営委員会日程について

44 ■ 日時：4月17日（火）19時～21時

45 ■ 会場：イングビル3階 第2会議室

47 委員長：運営委員会のメンバーは替わらないが、第2期に入るので引き続き力添えをお願いする。

49 以上をもって散会した。